

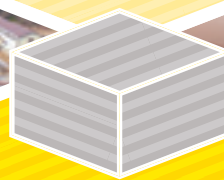
2019年度版

福島県職員

[土木・建築職]

募集案内

ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.



ふくしまを
カタチづくる仕事をしよう!

福島県土木部

先輩職員が斬り込む！

若手職員座談会



INTERVIEWER
+1 榎田
Keita Kushida

YOUNG STAFF
01 佐藤
Motoharu Sato

YOUNG STAFF
03 平
Ikumi Taira

YOUNG STAFF
02 島野
Ayumi Shimano

YOUNG STAFF
04 矢内
Masayoshi Yanai

若手職員4名が道路、河川、港湾、都市計画、建築、公共施設管理など、多様な仕事に携わることができる土木・建築職の魅力や面白さについて語ります。

先輩職員 榎田が聞く！

土木・建築職を目指したきっかけは

佐藤 まちづくり、地域づくりに携わりたいと考えたときに公務員なら地元のために働けると思いました。

島野 宮城県出身なのですが福島の復興事業に携わりたと思ったのと、小学生のとき通学路が歩きやすく整備されていくのを見て、自分もそういう仕事をしたいと思って志望しました。

平 学校や庁舎など大きな公共施設に係わる仕事がしくて希望しました。土・日に休めるところにもひかれました。

矢内 学んだ知識や経験を生かして故郷を守るという使命感を持って働きたいと思いました。

先輩職員 榎田が聞く！

新規採用職員へのサポートと職場の雰囲気は

佐藤 入庁当時は、わからないことだら

けですが、尋ねるとみなさん丁寧に教えてくれます。自分から積極的に学ぼうと思えばどんどん学べる環境ですし、初任技術者研修のほか、職場内研修（OJT）もあって、自分の仕事以外の業務についても知ることができます。

島野 課全体で支えていただき、教えてもらって今があるなあというのが実感です。課長や専門員の方が講師となって若手職員向けの勉強会の開催もあり、道路・河川・管理と多岐にわたり学べる内容になっています。また、職場には土木職の女性係長が上司にいて、子育てしながら働く先輩の存在は、同じ女性としてとても心強いです。

平 建築は、現場を見て覚えるのが大切なので、担当が異なる場合でも先輩方は現場に連れていってくれます。そこでは工事業者さんとの定例会議の進め方や工事の指示の仕方など見本を見せてもらっています。また、資格取得のサポート体制がしっかりしていて、私の場合、実務2年の最短で1級建築士を取得することができ

ました。

矢内 私のときもそうでしたが、新規採用職員にはサポートする先輩がついてくれるので、わからないことを気軽に聞くことができます。技術士を持っている先輩方も多く、自己研鑽に励むことができる環境です。

先輩職員 榎田が聞く！

あなたの将来の目標を教えてください

佐藤 まだまだ学ぶべきことがたくさんあるので経験を積んで、より専門性の高い土木技術者を目指しています。

島野 道路計画策定が多く工事の経験が少ないので、橋梁などの大規模構造物の施工に携わってみたいです。

平 直近の目標として建築基準適合判定資格者の資格を取得して、建築主事の仕事をしてみたいと思っています。

矢内 日々の研鑽と経験の積み重ねを大切に、道路や河川分野にも積極的にチャレンジして確かな技術力を身につけていきたいと思っています。



しっかりした
サポート体制に感謝！

YOUNG STAFF

入庁2年目 まちづくり工学科卒

01

佐藤 元春 (土木)

Motoharu Sato

所属課 まちづくり推進課

進化する土木行政のエネルギーを実感

これまで都市再生整備計画事業や防災集団移転促進事業、宅地危険度判定に関する仕事などに関わらせていただきました。土木と言っても仕事の幅は広く、SNSを用いた広報やICT技術を活用した工事の実施など、新しいものを積極的に活用している姿勢に土木行政のエネルギーを感じています。

振り返ると入庁したばかりの頃は、なにも分からず周りのみなさんに頼ってばかりでしたが、先輩のサポート体制がしっかりしているので安心して職務に取り組むことができます。また、仕事の裏付けとなる法律を意識し始めたことで、常に何を根拠にしているか考えるようになり、自分の仕事に自信が



▲根拠資料をしっかりと確認

持てるようになりました。自分が携わった仕事がうまくいったときは、充実感で胸がいっぱいになります。有給休暇はそれぞれの都合に合わせて取得できる環境なので、公私ともに充実した毎日を送っています。

未来の後輩へ
メッセージ！

Message

土木の仕事は、とてもやりがいがあります。私は、これからの夢として地域に密着した、地域づくりに携われる仕事をしたいと考えています。ぜひ一緒に福島を盛り上げて行きましょう！



バリバリ働く女性職員の
多さにびっくり！

YOUNG STAFF

入庁2年目 応用生命システム工学科卒

02

島野 歩未 (土木)

Ayumi Shimano

所属課 道路課

住民のみなさんの感謝の言葉が励み

県中地域の道路計画の策定、予算管理、関係機関との事業調整を担当させていただいております。入庁してまずびっくりしたのは、バリバリ働く女性職員の多さです。予算と事業規模の大きさにも驚きました。道路整備は、どんなに小さなものでも



▲地域の方へ事業計画を説明

計画から工事まで、委託業者さんや地元のみなさんとの調整、必要がある場合は、ほかの管理者さんと協議を行うなど、本当に多くの人が関わって

できることなのだということもわかりました。事業説明会や用地交渉など地域の方々と関わる中で、まだ計画段階であっても事業化への感謝の言葉をいただいたときなど、やりがいを感じる場面も多く、少しでも早く整備をしてみなさんが安全に生活できる環境を作りたいと思って仕事をしています。また、こうした私たちの仕事を、たくさんの方々を知っていただき、興味を持ってもらうという夢も叶えたいです。

未来の後輩へ
メッセージ！

Message

県民の方々の生活に欠かせないインフラ整備やまちづくりなど幅広い業務に関わることができるのが土木の仕事です。福島県の復旧・復興と県民の方々のために一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



長期的で大規模。この先何年も残る仕事ができます

YOUNG STAFF

入庁5年目 工学部建築学科卒

03

平 育実 (建築)

Ikumi Taira

所属歴 建築住宅課から、現在 施設管理課

担当した公共施設を子どもや孫が使うのが夢

これまで県営住宅内部改修や水上派出所新築工事（本当に海が目前にあるんですよ！）、福島県警察本部庁舎整備工事、福島県本庁舎改修工事などの工事監理を担当させていただきました。これらの仕事を通して工事監理は、施設の利用者や施工業者さんとの調整が必要だということと、利用者の目線で建築のディテールを考えなければなら



▲現場での仕上がり確認

ないことを学びました。その他に建築確認審査業務や補助金の受付など、インフラ整備以外の様々な業務があることは、入庁してから初めて知りました。一番胸が躍ったのは、庁舎整備などで壁紙や床材の色をたくさんのカタログの中から決めるときでしたが、同時に今後何年も残る仕事なので責任も感じました。私が整備を担当した学校や公共施設を、将来子どもや孫が使ってくれることが夢です。休日は趣味のランニングや温泉めぐりをしたりして楽しんでいます。

未来の後輩へメッセージ！

Message

建築職は、取らなければならない資格も多く、身につけなければならない知識もたくさんあるので入庁後も常に勉強が必要ですが、わからないことを教えてくれる先輩がいますし研修会もあります。自分を磨きながら活躍したい人にぴったりの職場です。



安全・安心を守る使命感 事業全体を統括する醍醐味

YOUNG STAFF

入庁9年目 環境システムマネジメント卒

04

矢内 将喜 (土木)

Masayoshi Yanai

所属歴 河川砂防課から、管理課、東北地方整備局を経て、現在 港湾課

幅広い業務を経験できる環境

採用年度に震災を経験し、がむしゃらに目の前の業務を遂行し続けました。その後、国土交通省東北地方整備局に2年間出向する機会をいただきました。港湾という未経験の分野でしたが、



▲上司への企画説明

今の福島県が置かれている現状を客観的に見ることができる貴重な経験をさせていただきました。さらに出向先で得た知見や人脈を現在の配属先で活かすことができるとも充実しています。

地域のニーズに応え、県民のみなさんの思いを形にできる職員になることを目指していますが、仕事には困難がつきもの。しかし、施工業者さんや上司と知恵を出し合って乗り越えたときや、完成した施設を地域の方々が利用されている様子を見たときの達成感は何物にも代えがたく、次の仕事のエネルギーになります。また、好きな野球やスノーボード、家族と過ごす休日は、とてもよい気分転換になっています。

未来の後輩へメッセージ！

Message

モノづくりの達成感と維持管理をしながら地域のみなさんの安心・安全を守っているという使命感を持って働くことができる、とてもやりがいのある仕事です。

道路

ともに育む、たしかな未来への「道づくり」

道路は、人・物・情報そして文化が自由に行き来し、経済・産業から日常生活を支える最も基本的で重要な社会基盤です。本県の持続ある発展と安全・安心に暮らせる地域社会の実現のため、たしかな未来への「道づくり」を進めています。

主な事業

国道294号 道路改良

道路の拡幅や交差点の改良、歩道を新たに設置することで、円滑な物流や通学路の安全を確保しました。



白河市

河川

命を守る「川づくり」

災害から人の命や財産を守るため、川幅を広げ、築堤するなどの改修工事により、水を安全に海まで流します。また、災害時の避難の目安となる河川水位の情報提供などのソフト対策にも取り組んでいます。

主な事業

桜川 河川改修

川幅が狭く、過去に幾度となく洪水被害が発生していたことから、洪水被害の解消とともに、景観に配慮した川づくりをしました。



三春町

まちづくり

地域が主役の「まちづくり」

地域の方が主役となり未来に希望が持てる、個性ある美しいまちづくりを実現するため、地域の方や地域づくり団体などと協力して、風土や観光資源などを活かした「まちづくり」に取り組んでいます。

主な事業

国道252号 七日町の大正浪漫 溢れるまちづくり

地域の方と街なみの景観のあり方などを検討し、歩いて楽しいまちづくりを進めています。休日には多くの観光客が訪れ、まち歩きを楽しんでいます。



会津若松市

建築

安全・安心で快適な「建築・住まいづくり」

復興に向けて、復興公営住宅やその周辺の施設を整備するとともに、県営住宅などの適正な維持管理のほか、民間建築の耐震化、県外からの移住者や子育て世帯への住宅取得の支援等、地域の活性化に取り組んでいます。

主な事業

復興公営住宅 石倉団地

入居者が長期にわたる避難生活を安心して快適に過ごせるよう、集会所、診療所、生活サポート施設（デイサービス、総合相談、見守り活動等）を団地内に整備しました。



二本松市

復旧・復興

復興を全力で成し遂げる「決意」

東日本大震災により被災した公共土木施設の復旧を進めるとともに、津波被災が甚大であった沿岸部については、河川・海岸の堤防や防災緑地の整備等、防災機能を強化した復興まちづくりに取り組んでいます。

主な事業

松川大洲地区海岸・ 大浜地区海岸・ 市道大洲松川線 災害復旧

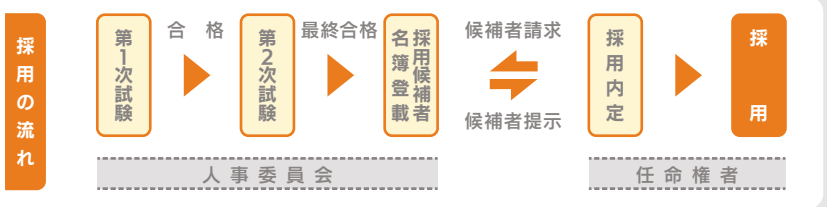
東日本大震災の大津波により、被災した海岸堤防と市道の復旧工事が完成したことで、地域の安全・安心が確保されるとともに、多くの観光客が訪れています。



相馬市

合格から採用まで

最終合格者は、職種ごとに採用候補者名簿に登載され、この中から任命権者（知事）が採用者を決定します。採用候補者名簿は、原則として名簿確定後から1年間有効です。



試験実施状況

職 種	平成30年度				平成29年度		平成28年度		
	採用予定人員	受験者数	一次合格者数	最終合格者数	競争倍率	最終合格者数	競争倍率	最終合格者数	競争倍率
大学卒程度 土木	13	36	26	14	2.6	13	1.9	20	1.8
高校卒程度 土木	2	5	3	2	2.5	4	1.3	2	4.0
民間経験者 土木	3	20	16	8	2.5	11	1.8	7	2.7
大学卒程度 建築	3	11	10	3	3.7	1	8.0	1	10.0

インターンシップ制度

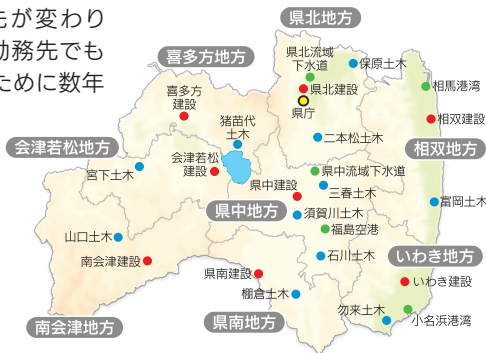
福島県土木部では、県土復興を支える公共事業の仕組みや技術系職員の業務内容・役割、職場環境などについて幅広く知ってもらうとともに、職業意識の向上やキャリア育成の一環として、福島県土木部の職場を体験するインターンシップ実習を行っています。下記については、平成30年度の実施内容となります。詳しくは、福島県人事課へお尋ねください。

- 対象学生 / 福島県へ就職を希望する大学生等（学年の条件あり）
- 実習場所 / 福島県内の建設事務所
- 研修期間 / 7月～9月のうちの2週間程度
- 受入人数 / 18名程度（平成30年度受入実績17名）
- 申込み方法 / 希望される方は学内の就職支援担当課又は担当教員などを通じて、研修希望日の1ヶ月前までを目安に、福島県人事課へメールでお申し込みください。（大学生の皆様は大学を経由）

Q and A

Q1 勤務先や仕事の内容はどのぐらいの頻度で変わりますか？

A 県の職員は、3～4年程度の周期で人事異動があり、勤務先が変わります。また、同じ勤務先でもキャリアアップのために数年に一度担当替えがあります。



Q2 残業はありますか？

A 繁忙期や災害発生時には残業になることがありますが、毎週水曜日のノー残業デーや毎週金曜日のリフレッシュデーの取組みでワークライフバランスに配慮した職場環境づくりを進めています。

Q3 技術系公務員（土木・建築職）の仕事を教えてください。

A 民間の仕事は、建設や設計、維持などの得意分野を専門に行いますが、技術系公務員は、道路、河川、港湾、砂防、都市、建築などの様々な分野の公共土木施設に関する建設、改修、維持管理等について、小規模工事から大規模プロジェクトまで幅広い業務を行います。事業の計画立案、住民説明会、設計、施工管理等、多岐に渡る業務に携わることで、幅広い知識を習得することができます。

Q4 国、県、市町村の仕事にはどのような違いがありますか？

A 国は、複数の都府県をまたがる主要な国道や河川の建設や維持・管理を行っています。また、大規模なダムなどの治水事業も行います。県は、広域的な自治体として複数の市町村にまたがる県道や河川、広域的な活用が見込まれる建物の建設等の仕事を行います。一方、市町村は市町村道や水路、公民館等の地域に密着した施設を対象に仕事をします。

Q5 女性が働きやすい職場ですか？

A 雇用条件や昇任等に男女の差は無く、幅広い業務にチャレンジできます。また、育児休暇や育児時間、子育て休暇等の制度が充実し、男女を問わず制度の活用が容易で、男性も女性も仕事と育児を両立しやすい職場環境です。

Q6 技術系学科以外の出身でも受験できますか？

A 出身学科を問わず受験することができます。ただし、土木・建築職の仕事をするには、専門的な勉強が必要となります。職場でもOJTや専門研修を実施していますので、働きながら学ぶこともできます。

Q7 県外出身者でも安心して働けますか？

A 本県は全国第三位の面積を有し、県内出身者であっても全ての地域に精通している人は希です。先輩のサポートもありますので県外出身の方でも安心して働くことができます。

問い合わせ先

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

土木部の若手職員が業務内容と仕事の魅力について紹介しております。ぜひ御覧ください。

福島県 土木部の職員紹介

採用試験 については
福島県人事委員会事務局採用給与課
TEL.(024)521-7590(直通)

インターンシップ制度 については
福島県総務部人事課
TEL.(024)521-7033(直通)

このパンフレット及び、その他 については
福島県土木部土木総務課
TEL.(024)521-7451(直通)